



正門から続くアプローチの向こうにレ クレイエールの華麗な正面ファサードが見えてくる



部屋のテラスから望む広大な美しい庭園。まるで一幅の絵画の様な風景が広がる



メインダイニング「Le Parc」はホテルの白眉であり、絢爛豪華な装飾を施した店内は思わず溜息が出る



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健園代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立。代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。
www.jhrca.com/worldhotel
現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

ドメーヌ レクレイエール Domaine Les Crayères

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



シャンパーニュ地方の中心ランス。そこに広大な敷地を有し優雅な姿で佇む白亜の館がある。ランスのランドマークでもあるシャトー「レクレイエール」(Domaine Les Crayères)



スーシェフの馬田氏をはじめ、「Le Parc」のスタッフ全員が出迎えてくれた



エレベーター内には世界を代表するフランス料理界の巨匠たちの写真が飾られている



レクレイエールの気品あるレセプションデスク



エントランスホールを見下ろすクラシカルな回廊



重厚なメインバー「La Rotonde」の奥に用意されたエレガントなラウンジ



美しい森の庭園を歩いて行くと戸建て感覚のブラスリー「Le Jardin」が見えてくる



真紅の壁紙で意匠された Jr. スイートは女性的な優雅な雰囲気だ。建物中央に位置するため美しい庭園を真正面に望むことができる



暫くすると正装したソムリエが部屋を訪れ、ウェルカムシャンパンを注いでくれる



バスルームのアメニティーは「HERMES」で統一されている

シャンパンの故郷であるシャンパーニュ地方のランス。そこに広大な敷地を有し優雅な姿で佇む白亜の館がある。ランスのランドマークであり、いまや伝説的ホテルと知られるシャトー「レクレイエール」(Domaine Les Crayères)である。長い間、「Boyer Les Crayères」と呼ばれて来たシャトーは、代々ボワイエ家が受け継ぎ、長年ミシュラン3ツ星を維持して、地元では「ボワイエ」の名前で親しまれていた。数年前にボワイエ家のジュラル氏が惜しまれつつ引退し、現在はポメリー家の直系、ギャルディエニ氏率いる「Gardinier Family」が新しくオーナーに就任している。現在は Relais & Chateaux の旗艦ホテルでもある。

レクレイエールの歴史は、1875年に大手シャンパンメゾン「Pommery」のオーナー、マダム・ポメリーが愛娘のルイズの婚礼のためにこの敷地を購入し、建設したシャトーに遡る。このホテルは日本の帝国ホテルとの関係が深く、ジュラル氏に師事したティエリー・ヴォワザンが「レ・セゾン」のシェフを務めている。また、「ル・ムーリス」でヤニック・アレノ氏の下でスーシェフを務めた現シェフのフィリップ・ミルは、今年開催された帝国ホテルの「レクレイエールウィーク」に招かれている。

レクレイエールはスイートを含めて全20室のシャトー・スタイルのホテルだ。1904年以降、インテリアは大御所ピエール・イヴ・ロションの手により改装されている。筆者にアサインされた部屋は、真紅の壁紙で意匠された Jr. スイートで、建物中央に位置するため美しい庭園を真正面に望むことができる。暫くすると正装したソムリエが部屋を訪れ、ウェルカムシャンパンを注いでくれる。メインダイニング「Le Parc」はホテルの白眉であり、絢爛豪華な装飾を施した店内は思わず溜息が出るくらいだ。建物反対側には重厚なメインバー「La Rotonde」があり、庭園に突き出した形でエレガントなラウンジを用意している。他方、美しい森の庭園を歩いて行くと戸建て感覚のブラスリー「Le Jardin」が見えてくる。

レクレイエールはボワイエの後、一時期ミシュランの星を失ったが、現シェフのフィリップになってから盛り返し、2012年に2ツ星を獲得し、かつての隆盛が戻って来た。ランスには Krug や Ruinart、Louis Roderer などキラ星のごとく著名なシャンパンメゾンが並び、歴代フランス王の戴冠式が行われた世界遺産のノートルダム大聖堂など見所満載の美しい街だ。そんなランスの「伝説の館」でシャンパンと美食に酔いしれるのも一興であろう。

世界のリーディングホテルから厳選
ホテルジャーナリスト
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ
3,000円(本体価格)

www.ohtapub.co.jp/worldhotel/

